

# かしわ

## 後期が始まりました

校長 北村 耕一

後期が始まりました。始業式で私が話した内容を簡単に紹介します。

「前期では小学部の4・5年生は宿泊体験、高等部3年生は修学旅行がありました。それぞれ思い出が作れたと思います。さて、今年は7月・8月・9月と暑い日が続きました。10月になりましたが、暑い日もあります。いつも話していますが、『健康』には気をつけて生活してください。10月20日にふれあい運動会が行われます。今年度の大きな学校行事です。楽しく参加するために「健康」でいてください。『健康』でいるために皆さんが行えることは何ですか？(そうですね)それでは楽しく「ふれあい運動会」に参加できるように、練習も大切にしてください。中学部の二人はその後、修学旅行もあります。合わせて取り組みも大切にしてください」というものでした。

「『健康』でいるために皆さんが行えることは何ですか？」という問いかけは、子どもによっては難しかったようです。私の想定していた返答は、「睡眠時間を確保する」「好き嫌いせず食事する」「運動する」でした。

防災訓練の時には「自分の命は自分で守る」ことが大切だと話しましたが、「健康」も自分で守れるようになると「自立」につながります。しかし、子どもの発達状況や個性によっては、保護者・教職員の支援が必要です。私たち大人が子どもの「健康」を把握していくことは大切なことです。

さて、今年度は「ふれあい運動会」が本校の秋の最大行事です。「健康」を保って参加して、思い出を作ってもらいたいと思います。私も「運動会」には自分が幼稚



No. 11 平成30年10月11日 高等部修学旅行  
旭山動物園

園に通っている時から参加しています。小学校までは「運動会」、中学校、高等学校では「体育祭」でした。多くの保護者の皆様や教職員も同じだったのではないのでしょうか。(大学の時は参加した記憶がありません)

社会人になってからも中学校に勤めている時は毎年、ろう学校では隔年で参加しました。(ろう学校のふれあい運動会に参加するのは今年で3回目です)

しかし、それだけ身近にある「運動会」の由来・歴史については知りませんでした。日本の「運動会」はいつ頃からあったのでしょうか？現代社会は便利です。インターネットで調べてみました。すると次のことがわかりました。

(以下毎日小学生新聞より)

「日本で最初に運動会が開かれたのは、海軍の幹部を育成するための学校『海軍兵学寮』(東京・築地)とされています。イギリスから来たダグラス先生が『(イギリスで行われている)アスチックスポーツ(日本語では「競闘遊戯」と訳した)を行いたい』と提案しました。そして、明治7(1874)年3月に開催されました」

「運動会」には144年の歴史があったんですね。「運動会」という名称は1883年に東京大学で使われたそうです。現在では、学習指導要領の特別活動の学校行事に位置づけられています。

本校の「ふれあい運動会」は、幼稚部から高等部までの幼児児童生徒だけでなく、保護者をはじめとするご家族の皆様、卒業生、地域の皆様、本校に関わりのある皆様が「ふれあう」ことを大切にされて行われています。教職員も運動会の運営を担いながら参加し、楽しい時間を共有します。

後期から各学部の練習が本格的となります。幼児児童生徒が元気に参加できることと10月20日(土)が晴れますことを祈っています。(当日が雨天の時は、翌21日に運動場または体育館で開催します)

## 小学部宿泊学習の様子

小学部 野田 学、田中 孝和

9月13日(木)～14日(金)に一泊二日の宿泊学習に行ってきました。場所は三浦YMCAグローバル・コ・ヴィレッジ(旧三浦ふれあいの村)です。

1日目の午前中に京急油壺マリンパーク水族館に行きました。今回は水族館の裏側を見学しました。大水槽の裏側を歩かせてもらい、そこで魚のえさやりも見る事ができました。「ノギリエイ」がノギリを振り回してえさを食べる姿も見ることができました。



その後は三浦YMCAに向かいました。野外炊事ではカレーを作りました。子どもたちは夏休みに練習したカレーの作り方を思い出しながら野菜を切っていました。先生たちがかまどに火をつけて準備をしていたら、その様子が珍しかったようで子どもたちも薪を入れる手伝いをしてくれました。カレーは美味しくでき上がり、2回、3回お替りする子どももいました。



カレーを食べ終わると、すぐにキャンプファイアが始まりました。キャンプファイア場は森の中にあるので、薪に火を灯す前は、真っ暗闇でした。先生と子どもたちと一緒にトチを持ち、薪に火を灯し、キャンプファイアが始まりました。みんなで歌って、踊り、さっきまで静かで真っ暗だった森がみんなの活気にぎやかになりました。

2日目は食堂で朝食を食べました。自分たちで使った布団やシャツをきれいに畳み、部屋の片づけもきちんとできました。最後に体育館で「おし相撲」「だるまさんの一日」「宝探し」をして遊びました。

今回の宿泊学習は、普段の生活ではあまり体験できないことを経験することができました。

## 全校授業研究会(小学部)の様子

小学部 小佐野 玲子

9月21日(金)、本校の小学部で外国語活動の授業研究会が開催されました。今年度の研究テーマは「考える力を育てる授業の工夫～子どもたちが主体的に動ける学習活動～」です。外国語活動では対話はコミュニケーションの基本のため身近な買い物学習を通して積極的に外国語を使ってALTとの活動を楽しんでもらいたいという願いからこの授業展開が考えられました。

小学4・5・6年生4名に対し、ALTを含む3名の教員が担当してバーガーショップで自分の注文ができるかを学ぶ内容でした。後半は子ども一人ひとりが食べたいものを英語で聞いて注文し、注文通りに購入できるか外国の通貨の計算までしました。発音の際にはリズムにも気をつけて、とても楽しみながら学ぶ姿が印象的でした。



研究協議会では、萩原淳一主査指導主事から視覚的にわかりやすく英単語一つひとつに手話単語を載せることで、理解していない単語を瞬時に把握させる工夫がなされていてよかったと講評をいただきました。

4グループに分かれワークショップによる討議では、視覚的にわかりやすい授業についてのやりとりやことばかけについて、どのグループからもよい点があげられ、さらに課題については具体的な改善方法が挙げられるなど有意義な研修が行えました。

最後に久米先生から子どもたちの生き生きした活動の様子に触れられ、今後もしなやかなもの見方や感じ方を教師・保護者・子どもに関わる大人が持つことが大切であると助言していただきました。これからも日々の学びの中で、子どもが主体的に体験し活動できる授業づくりに取り組んでいきたいと思っています。

